

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年 1月 22日 (14:30 ~ 15:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 下村 森口 加藤 山下 濱崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	2人	人	10人

前回の改善計画

初期支援の段階で本人、家族の思いが十分に把握出来ていない事があり、事前情報の聞き取りに工夫を行う。担当者会議でケアマネだけでなく、現場職員も聞き取りを行っていくように勧めていきます。また新たに開始したツールを上手く活用していき、家族に情報提供を投げかけていくようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

ケアコラボを利用するようになり、職員間やご家族との情報共有が図りやすくなった。写真やご様子をすぐにお伝えすることができ、コメントを活用しての交流や情報交換を行うことができた。担当者会議に現場職員が参加しての聞き取りはできていたが、参加職員の偏りは見られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		8人	1人	1人	10人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2人	6人	2人		10人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3人	7人			10人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1人	7人	2人		10人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

事前に提供された情報には目を通し、ある程度は把握できている。積極的に声を掛けてコミュニケーションを取り、会話の中で様々な思いを引き出し、関係づくりに取り組むようにしている。ご本人だけではなくご家族の思いも、新しいツールを使用することにより引き出しやすくなり共有したいこともほとんど漏れることなくできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

職員の減少により、座ってゆっくりと会話をする時間が以前に比べて取れなくなっている。ご家族とやりとりを行う職員に偏りがあり、送迎や訪問に出ない職員は直接ご家族とお会いする機会が少ないため思いを十分に把握できていない部分もある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

ケアコラボを利用することにより情報の共有は以前よりしっかりと行えるようにはなったが、職員体制が厳しくなり新規の利用者とゆっくり関わる時間が減ってしまっている。業務の見直しを行い、しっかりと座って会話をする時間を作っていきます。送迎や訪問に出ない職員は、なるべく多く担当者会議に出席してもらうことでご家族との交流を図れるように工夫します。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年 1月 22日 (14:30 ~ 15:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 下村 森口 加藤 山下 濱崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	3人	人	10人

前回の改善計画
 外出企画などは実施出来たが、振り返りが出来ていない事の改善が必要。振り返りをし、次の支援につなげていくことを行っていく。ツールの活用を検討し、上手く本人の思いを共有出来る仕組みに取り組んでいきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
 外出企画などの振り返りは個々ではできていたが、記録に落とし込んでの振り返りはできていなかったの
 で皆での共有はできていない。本人の「～したい」の思いはケアコラボを活用することで共有し実現
 することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6人	4人		10人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7人	3人		10人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6人	4人		10人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		7人	3人		10人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ご本人の思いや希望をお聞きした時にはケアコラボで共有できている。職員で共有できているので職員皆で出来る限り実現できている。また、実現するために生活リハビリを実施している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 利用者本人の本当の希望や特に目標が把握できていない。家に帰りたなど当面の希望はわかるが本人や家族様の状況からすぐには実現できず面会や外出や一時帰宅などの対応しかできていない。職員の減少もあり、すぐに実現できることも時間がかかることも多い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 本人の思いを引き出し、一緒に目標を立て、実現できるように支援します。業務の整理をして、職員の時間を作り、すぐに実現できることは時間をかけずに行い、思いを叶えられるようにしていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年 1月 22日 (14:30 ~ 15:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 下村 森口 加藤 山下 濱崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	4人	人	10人

前回の改善計画
 ツールを活用して、家族とのコミュニケーションも取りやすくなってきたのでこちらから家族に聞いて行くことを実施していく。初期アセスメントのやり方を変えて、写真などを多く活用し、情報共有しやすい様に行っていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ケアコラボを通してご家族から様々な情報の提供があり、利用者の知らない一面を知ることができている。利用前のアセスメントを取る時点で、部屋のご様子や物の場所を写真に撮り、情報を共有することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3人	7人		10人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3人	6人	1人		10人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5人	5人		10人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		8人	2人		10人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		7人	3人		10人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 体調面や心の変化など、すぐに気が付くことができている。ケアコラボを活用し、細かいこともすぐに記録や写真を残すことによりすべての職員が共有できている。
 共有することで皆と話し合い、よりよいケアができるようにケア内容を変更している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ご本人の気持ちを聞く事や以前の暮らし方を、詳しく把握できている人もいればできていない人もおりバラツキが大きい。また、自宅へ訪問できていない職員は、生活ぶりの把握が他の職員に比べるとできていないと感じている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ご自宅に訪問出来ない職員でも生活ぶり分かるように、許可をいただいて部屋の写真を撮らせていただき、ご自宅での様子を把握できるようにします。また、その情報をTV電話での支援や、普段のケアに生かしていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年 1月 22日 (14:30 ~ 15:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 下村 森口 加藤 山下 濱崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2人	6人	1人	9人

前回の改善計画
 今後もその人らしい生活を継続するために情報を収集していきます。共有することが課題であるのでツールを活用して、見える化し情報が共有しやすい様にしていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
 個々が収集した情報をケアコラボに記録し情報の共有がしやすくなった。また、細かいことでも記録することでより良いケアに繋がっている実感があるが、時間が取れずなかなか記録ができていない事も多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6人	4人		10人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5人	5人		10人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1人	6人	2人	1人	10人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人		4人	5人	10人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 暮らしぶりの把握は、日々の会話の中や TV 電話や訪問で大体はできている。お迎えや訪問時にご近所の方とお会いした時には、しっかりと挨拶をするように心掛け、少し会話を交わすこともある。地域によっては一人暮らしの利用者のご様子を民生委員が見守って下さり、情報をくださることもあり関係性ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 民生委員や地域資源の把握がほとんどできていない。多忙な業務の中、情報収集を行う時間の確保が難しく、方法もわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 今までと同じ暮らしを守るため、必要な支援や助言を行い、普段の様子もケアコラボで共有していきます。民生委員や地域の資源などを調べて把握し、地域との関係性も継続していきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年 1月 22日 (14:30 ~ 15:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 下村 森口 加藤 山下 濱崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	4人	3人	9人

前回の改善計画	地域資源は単に、民生委員や行政政策だけではなく、馴染みや行きつけのお店、隣近所の方なども地域資源になるので広くその方が関わり、思いを把握し、共有していくようにします。サービスについては断らず柔軟な対応を継続していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	馴染みや行きつけのお店を把握することはできても、一部の方を除いて関わることはあまりできなかった。サービスについては以前と変わらず柔軟に対応ができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2人	4人	4人	10人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3人	6人	1人		10人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1人	9人			10人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1人	8人	1人		10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者や家族様の事情や状況に合わせて利用方法を可能な範囲で柔軟に対応できている。利用者の状態状況は出勤してなくてもケアコラボである程度把握でき、不明な点は出勤時に他の職員にも確認して情報を共有してケア内容をアップデートしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員の減少に伴い、ミーティングが減り以前に比べると細かいところまでの共有ができていないこともある。柔軟な対応はできてはいると思うが、泊りが満床で困った時に利用できないことがあった。地域資源の把握と活用はできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
柔軟に支援ができるように、一人一人の状態やニーズを常に把握し、しっかりと関わっていきます。知り得た事は共有できるように記録に残し、個別ケアを深めていきます。泊りの枠に余裕を持つことで不測の事態に対応できるように調整していきます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年 1月 22日 (14:30 ~ 15:30)

6. 連携・協働

メンバー 下村 森口 加藤 山下 濱崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	2人	3人	9人

前回の改善計画
 次年度から全職員サービス担当者会議が参加出来る様にスケジュール管理を行っていきます。自治会との関係は事業所全体で取り組めるようにしていきます。つながり連絡員については継続していき、より地域住民との関係を深めていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
 サービス担当者会議への出席が同じ職員に偏り、まだ出席したことのない職員も多い。つながり連絡員の方とは継続しての関りがなかなかできなかったが、サロンに参加されている地域住民との関係は、回を追うごとに深めていく職員もいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?			6人	4人	10人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1人	2人	7人	10人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		1人	1人	8人	10人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1人	6人	1人	2人	10人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 サロンに地域住民が訪れてくださるので、月に1回程度は一緒に食事をしながらお話はできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 地域や他のサービス機関との会議には参加できていない。
 参加する機会もあまりなく、また、会議に出席してしまうと現場が大変になるのではないかととも思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 現場の職員がご家族や他の事業所の職員と交流できるように、サービス担当者会議の開催を増やしたり、地域の会議に出席できるようにスケジュールの調整を行います。つながり連絡員については、改めて精査し、お互いに無理なく継続できる関わり方を考えていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年 1月 22日 (14:30 ~ 15:30)

7. 運営

メンバー 下村 森口 加藤 山下 濱崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	3人	5人	9人

前回の改善計画
 家族の意見は引き続き、コミュニケーションを増やし、意見を聞いていきます。地域住民の方はサロン活動を通じ、交流を深めていき、意見を聞いていきたいと思ひます。サロン活動も全職員が参加できるように調整を行っていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ご家族の意見はケアコラボを活用することで聞く事はできていたが、地域住民の意見は聞き取るに至るほどの関係性を築くことができなかった。サロン活動への参加は全職員ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		5人	2人	3人	10人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		7人	1人	2人	10人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4人	3人	3人	10人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2人	4人	4人	10人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 全体会議などを通じて意見を出す機会はある。家族様や地域の方からの意見や苦情があれば職員間で情報を共有して現場で対応可能な件は対応するようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 地域の方からの意見、苦情を運営に反映していない 地域と協働した取組みを行っていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ご家族の意見はケアコラボも活用して引き続き聞いていきます。地域住民とはサロンでの交流や普段からの関わりでコミュニケーションを図り、あすならを知ってもらうことで意見を引き出しやすい関係性を築いていきます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年 1月 22日 (14:30 ~ 15:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 下村 森口 加藤 山下 濱崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	4人	2人	10人

前回の改善計画
 次年度も内部研修の内容を考え、計画を立てて行っていきます。職員の意見も聞きながら、何が学びたいのか、悩みが解決するような研修内容にし、充実していきます。地域連絡会も一部職員の参加になっているので順次参加出来る様に行っていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
 職員の意見をくみ取り、研修の内容を考え計画通り行うことができた。地域連絡会は今年も同じ職員しか参加できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		7人	2人	1人	10人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	3人	3人	3人	10人
③	地域連絡会に参加していますか		1人	4人	5人	10人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	5人	3人	1人	10人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 職場内の研修は参加している 事故、ヒヤリハットがあれば、振り返りをして再発防止に努めている 実務者研修への参加。ケアマネ試験受験の勉強をし、知識を得ることができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 職場内での研修には比較的参加ができていたが、地域で行っている研修や、スキルアップにつながるような研修には参加できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 事業所内の研修は引き続き全職員に参加してもらいます。事故やヒヤリハットが起きた時には必ず振り返りを行って再発防止に努めます。また、地域での研修や連絡会には職員の偏りなく参加してもらい、新人職員の実務者研修の受講も促します。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年 1月 22日 (14:30 ~ 15:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 下村 森口 加藤 山下 濱崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	3人	1人	9人

前回の改善計画	認知症の方が多いので引きつづき抑止はせずに、付き合っていく認知症ケアを行っていきます。情報の取り扱いについてもツールに集約し、ペーパーレス化し、適正に管理していきます。成年後見制度についてはまずは学習すること、どのような制度なのか学んでいきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症ケアは全職員でしっかり取り組み、付き合っていくケアが継続できた。ケアコラボで情報の集約を行い、ペーパーレス化をすすめ、適正に管理することができた。成年後見認制度については学習の機会が取れなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7人	2人	1人		10人
②	虐待は行われていない	8	1人	1人		10人
③	プライバシーが守られている	5人	3人	2人		10人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1人	4人	3人	2人	10人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4人	5人	1人		10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の尊厳を守る取り組み（身体拘束や虐待はしない）はできている。利用者のプライバシーや個人情報の管理はできている。また、言葉での拘束も行わないよう心掛けている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 自分では気が付いていなかったが、他職員からの指摘でプライバシーや個人情報の管理不足に気がつく時がある。 成年後見認制度を理解できていないので、どの利用者に必要な制度なのかもわからない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 適正な言葉遣いやプライバシーへの配慮をさらに意識し、職員同士でもお互いに注意し合って利用者の尊厳を守るように努めます。成年後見認制度の学習会を開催し、制度を理解する取り組みを行います。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	代表者	東浦 秀己	法人・ 事業所 の特徴	「子どもからお年寄りまで住みなれた町でいつまでも安心して暮らし続けたい」を基本方針に、なごみのある地域で、いつまでも暮らしつづげたい。そんな当たり前の願いを実現するための、「大切な人を寝たきりにさせない介護の基本」「あすなら 10 の基本ケア」を実践しています。
事業所名	あすならホーム高田 小規模多機能型居宅介護	管理者	下村 瞳		

出席者	市町村職員	1人	利用者	人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	人	事業所職員	7人	その他	人	合計	11人
		1人		人		1人		1人		人		7人		人		11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	アンケート、ミーティング共に全職員の意見が反映出来る様に計画します。	アンケートやミーティングで全職員の意見が反映出来た。	職員で事業所自己評価に取り組み反響・実施されていることを確認できました。前回の改善計画に対して具体的に取り組み改善計画を立てていくことも確認しました。	普段から職員とコミュニケーションを取って、意見の出しやすい雰囲気作りを心掛け、全職員でより良い改善計画を作成できるようにします。
B. 事業所のしつらえ・環境	日々の清掃を引き続き行い、保守、点検を行います。必要な所は経費をかけ、環境が維持できるように努めます。	日々の掃除や定期的な手入れで状態の維持はできていた。	事業所は入りやすく居心地のよい空間です。不快な音やにおいもなく玄関にカギはかかってない。	整理整頓とこまめな清掃を行い、現状の維持に努めます。
C. 事業所と地域のかかわり	地域住民との関りが出来たので、継続していくこと、関わりを広げていくことに努めていきます。	サロンの参加者や地域の住民との関係性を深めることができた。	職員の皆さんあいさつしてくださいます。近隣の方々には知られてきて、相談しやすい場所となっています。安心感が持っています。サロンに参加の職員さんと交流させていただいています。	全職員がサロンに参加して地域住民との交流を行い、一人でも多くの人に名前を覚えてもらえるようにします。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	外出は楽しみになっているので継続し、利用者の住んでいる地域での関わりをこれから知る様にしていきます。	住んでいる地域での関わり、馴染みの店や場所へ出向くことができた。	関じ込めはありません。地域の方を交えた会議(運営会議)が行われています。利用者はおでかけや催しなどに参加されています。ご近所の心配事の声の聞いて、声かけをしてくださっています。	地域へのおでかけは継続して行います。また、地域の行事や催しにも参加し、今までのつながりを大切にします。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の参加について、家族の参加を促していきます。	ケアコロナボでお知らせをし、全開催日ではないが、数名の参加があった。	事業所の取り組みはよくわかります。地域が(市が)取り組むフレイル予防教室やオレンジカフェ、まちの相談室、春と秋の学習会に参加しています。	引き続き、運営推進会議への家族の参加を促します。
F. 事業所の防災・災害対策	訓練を継続し、非常に落ち着いて行動が出来る様に訓練を行います。備蓄について、非常に活用出来るよう点検も行っています。	訓練時は落ち着いた行動を取ることができていた。備蓄の点検はあまりできなかった。	防災計画を立てていて今年度は事業所の防災訓練に参加させていただきました。地域(大和高田市)の防災訓練は参加対象ではなかったです。自治会長と町の方数名が参加されていました。	防災訓練は継続して行い、備蓄の確認も定期的に行います。当日に参加していない職員もわかるように振り返りを行い共有します。